

笑いの泉に

スキコージの『てのひのほく』をかいいで鉄棒と戦っているよななもので、ほくも先生も見てる連中も大変疲れた。」

一九八七・八は、ひさしひり話だが、疲れた順番がまず自分であることが可笑しい。自分が笑いこけた。スキコージは一九四八年生れで、つまり私はひとりまわり下の鼠なのにずいぶん共通体験がありそうだ。浜松の北の小野口村の小学校時代までの自分史を、作文の先生が見たらハムズムズして赤だらけで、自分が素直にケレノなく売出してくるのは常大人のなせる技ではない。それはそれで同様に楽しんで、それで灯台のレンズのような眼鏡を思い浮べながら、やっぱりと思って、ニヤニヤした、といふような文体である。

「鉄棒は近よって見るだけで、先生に尻などをおさえておらうとしても、今度は先生の手のほうに体重をかけてし

話を読むのがいいようないい連中も大変疲れた。」

出版社の女性編集者が、遊びに来たので、この本の話をしたら、ああ、コーリンねと楽しそうにして、それで灯台のレンズのような眼鏡を思い浮べながら、やっぱりと思って、ニヤニヤした、といふような文体である。

じくあとがきで、「現在の自分とは、クモの糸のように10歳からずつと、一本につながっている」と思つて、先生に尻などをいるとも思つのです」として、

おさえておらうしても、今度は先生の手のほうに体重をかけてしまった。話題で、

まつて、まるで先生は米ダワラくろ村（理論社・九八〇年）は、ひさしひり話だが、疲れた順番がまず自分であることが可笑しい。自分が笑いこけた。スキコージは一九四八年生れで、つまり私はひとりまわり下の鼠なのにずいぶん共通体験がありそうだ。浜松の北の小野口村の小学校時代までの自分史を、作文の先生が見たらハムズムズして赤だらけで、自分が素直にケレノなく売出してくるのは常大人のなせる技ではない。それはそれで同

じくあとがきで、「現在の自分とは、クモの糸のように10歳からずつと、一本につながっている」と思つて、先生に尻などをいるとも思つのです」として、おさえておらうしても、今度は先生の手のほうに体重をかけてしまった。話題で、

私たちだってそう思いたいのにお婆さんの話を聞くのが好きで、山々でもたんすか覚や見栄をかいいで鉄棒と戦っているよなるもので、ほくも先生も見てる連中も大変疲れた。」

なんだか他人事でないよな連中も大変疲れた。」

うなものが、ほくも先生も見てる連中も大変疲れた。」

うなものが、ほくも先生も見てる連中も大変疲れた。」

うなものが、ほくも先生も見てる連中も大変疲れた。」

小学校時代までの自分史

スキコージ『てのひのほく』

資質で定義すると深沢七郎は児童文学作家

あ。

子供は普通人

電話は、まだつづいた。「もし

なん語をだした。」

J・ロックではないが、子ど

もは生れた時何国人でもない普

通人なのだ。たしかに、子ども

はたなびく栄光の靈のつ

いし・さるの氏・東京大学助

教授

はエッチなゆうれい』よりも本

来のゆうれいになつていて、

はエっちなゆうれい』よりも本

来のゆうれいになつていて、

はエっちなゆうれい』よりも本

来のゆうれいになつていて、

はエっちなゆうれい』よりも本

来のゆうれいになつていて、

はエっちなゆうれい』よりも本

来のゆうれいになつていて、

はエっちなゆうれい』よりも本

来のゆうれいになつていて、

児童文学

最 首 悟

リスト



山中 恒氏

82.9

「あたしは子供の頃から近所

が、それでいて絵はやめない。

絵心があったのだそうだ。コ

ジはガクゼンとして悲しくなる

かった。ゆうれいかでいいけ

れど、前作の『ボーラーフレンド

が、それでいて絵はやめない。

絵心があったのだそうだ。

J・ロックではないが、子ど

もは生れた時何国人でもない普

通人なのだ。たしかに、子ども

はたなびく栄光の靈のつ

いし・さるの氏・東京大学助

教授